

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月14日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部総務部長 (氏名) 熊澤 英俊 (TEL) 083-266-0210
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,645	5.3	1,020	△13.9	1,275	△8.1	978	△9.0
2024年3月期第3四半期	37,632	12.0	1,184	119.0	1,388	118.9	1,075	165.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 840百万円(△41.6%) 2024年3月期第3四半期 1,437百万円(211.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	114.04	—
2024年3月期第3四半期	122.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	32,879	11,743	35.7
2024年3月期	29,043	11,093	38.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 11,743百万円 2024年3月期 11,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	46,000	△2.9	700	0.2	900	△1.5	650	△13.2	76.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	8,910,000株	2024年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	407,485株	2024年3月期	278,585株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	8,581,965株	2024年3月期3Q	8,748,316株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第 1 四半期連結会計期間及び第 1 四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに變更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第 3 四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの高騰など、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループではHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」（2025年3月期～2026年3月期）を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った価格改定や養魚用飼料の販売数量増加などにより396億45百万円（前年同期比5.3%増加）となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績の悪化等により、営業利益は10億20百万円（前年同期比13.9%減少）、経常利益は12億75百万円（前年同期比8.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億78百万円（前年同期比9.0%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

機能性素材におきましては、エラスチンの海外向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

加工食品におきましては、魚肉ねり製品の海外向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、収益性を重視した取引に努め、価格改定したことなどにより、増収となりました。

これらにより、売上高は175億47百万円（前年同期比0.1%減少）となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績の悪化等により、セグメント利益（営業利益）は3億89百万円（前年同期比51.9%減少）となりました。

②飼料事業

配合飼料におきましては、養魚用飼料の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が増えたことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は220億66百万円（前年同期比10.2%増加）となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量増加による生産効率改善等により、セグメント利益（営業利益）は14億13百万円（前年同期比19.4%増加）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は328億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億35百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比34億63百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が35億31百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加（前連結会計年度末比3億72百万円増加）は、主に土地が2億21百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は211億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億85百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比28億57百万円増加）は、主に買掛金が15億20百万円、短期借入金が9億95百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の増加（前連結会計年度末比3億28百万円増加）は、主に長期借入金が3億57百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は117億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億50百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少が1億39百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を9億78百万円計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は35.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高騰、為替相場リスクや海外景気の下振れなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおりに推移していることから、2024年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,511	2,982
受取手形及び売掛金	6,030	9,561
商品及び製品	2,203	2,088
仕掛品	2,320	1,908
原材料及び貯蔵品	1,784	1,932
その他	817	657
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,666	19,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,759	2,731
土地	3,002	3,223
その他(純額)	2,456	2,445
有形固定資産合計	8,217	8,400
無形固定資産	102	382
投資その他の資産		
投資有価証券	4,491	4,279
その他	1,499	1,613
貸倒引当金	△932	△925
投資その他の資産合計	5,058	4,967
固定資産合計	13,377	13,750
資産合計	29,043	32,879
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,200	5,721
短期借入金	5,914	6,910
未払法人税等	298	364
賞与引当金	177	168
その他	2,287	2,571
流動負債合計	12,878	15,735
固定負債		
長期借入金	1,589	1,946
退職給付に係る負債	1,888	1,879
その他	1,593	1,573
固定負債合計	5,072	5,400
負債合計	17,950	21,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	2
利益剰余金	6,327	7,175
自己株式	△159	△219
株主資本合計	9,585	10,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,499	1,360
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整累計額	9	8
その他の包括利益累計額合計	1,508	1,369
純資産合計	11,093	11,743
負債純資産合計	29,043	32,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	37,632	39,645
売上原価	33,014	35,091
売上総利益	4,618	4,553
販売費及び一般管理費	3,433	3,532
営業利益	1,184	1,020
営業外収益		
受取配当金	118	125
その他	197	225
営業外収益合計	316	351
営業外費用		
支払利息	79	74
その他	33	22
営業外費用合計	113	96
経常利益	1,388	1,275
特別利益		
投資有価証券売却益	101	280
その他	1	—
特別利益合計	102	280
特別損失		
固定資産除却損	4	2
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益	1,486	1,553
法人税、住民税及び事業税	412	511
法人税等調整額	△1	63
法人税等合計	411	574
四半期純利益	1,075	978
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,075	978

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,075	978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	△138
繰延ヘッジ損益	△2	1
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△0
その他の包括利益合計	362	△138
四半期包括利益	1,437	840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,437	840

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,572	20,028	37,601	31	37,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,626	1,626	—	1,626
計	17,572	21,655	39,227	31	39,259
セグメント利益	808	1,183	1,991	24	2,016

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,991
「その他」の区分の利益	24
セグメント間取引消去	△58
全社費用(注)	△773
四半期連結損益計算書の営業利益	1,184

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,547	22,066	39,613	31	39,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,246	1,247	—	1,247
計	17,548	23,312	40,860	31	40,892
セグメント利益	389	1,413	1,802	23	1,825

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,802
「その他」の区分の利益	23
セグメント間取引消去	39
全社費用(注)	△844
四半期連結損益計算書の営業利益	1,020

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	539百万円	576百万円
のれんの償却額	—	4百万円